



三石ことぶき大学開講式 4/28

町教育委員会主催の平成28年度『三石ことぶき大学』開講式がみついしふれあいプラザで開かれました。三石ことぶき大学には、63歳から93歳までの男性10名、女性89名の計99名が入学。この日の開講式には約70名が出席し、ビデオ学習やカラオケ、手芸、舞踊などのクラブ活動を行い、仲間同士の和やかな時間を過ごしました。年間スケジュールは、防火・防犯・健康などの講話や町内見学などを予定しています。



静内ライオンクラブ寄贈 4/25

静内ライオンズクラブ（伊藤重廣会長）が創立55周年を迎えるにあたり、記念事業として町へ「生涯スポーツの町宣言」の看板と行事用テント2張、記念植樹として桜5本とツツジ12本を寄贈しました。「生涯スポーツの町宣言」の看板は、町静内体育館に設置され、記念植樹は山手公園内のライオンズの森に植樹されました。贈呈式は、5月28日に開かれる記念式典で行われます。



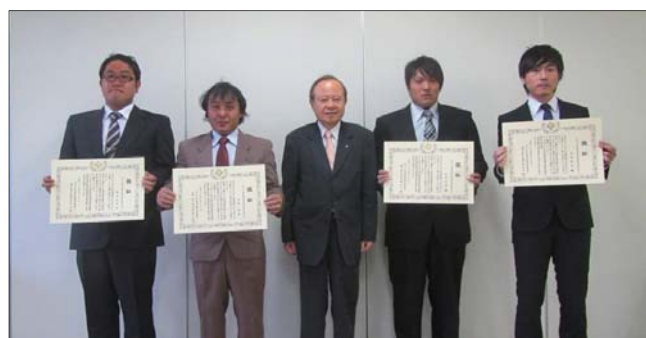
しずない吹奏楽団コンサート 4/24

『町誕生10周年記念・町図書館・博物館開館1周年記念しずない吹奏楽団コンサート』が町図書館で開かれ、約50名が来場しました。「静内町民吹奏楽団」から「しずない吹奏楽団」へ名称を変更し、初のコンサート。今回は、21名のメンバーが「365日の紙飛行機」や「JUPITER」「夜桜お七」など計8曲を演奏しました。観客は、なじみのある曲調豊かな演奏を楽しそうに聞いていました。



中央ことぶき大学開講式 5/10

町教育委員会主催の平成28年度『中央ことぶき大学』開講式と全体学習会が町公民館で開かれました。中央ことぶき大学には、60歳以上の123名が入学。この日の開講式には約90名が出席し、全体学習会では、道民カレッジ「ほっかいどう学」大学インターネット講座を上映し、日本の音楽教育の歴史について学びました。この学習会は来年3月まで行われ、生活や健康、教養などにまつわる全体学習会やレクリエーション、クラブ活動などさまざまな取り組みが行われます。



就農研修生認証状授与 4/28

町農業振興対策協議会（会長・酒井芳秀町長）が役場静内庁舎で開かれ、今年度の課題や事業などについて協議が行われました。また、酒井会長より今年度の町新規就農対策事業の研修生4名に対し、「就農研修生認証状」が授与されました。授与後、就農研修生らは、就農のきっかけや研修の感想、これからの目標や決意などをそれぞれ述べました。



ブリュート定期演奏会 4/24

静内混声合唱団ブリュート（潮みち子団長）主催による『静内合唱団ブリュート第28回定期演奏会』が町公民館で開かれ、約200名が来場しました。プログラムは4ステージに分けて行われ、1ステージでは朝の連続テレビ小説の主題歌、2ステージは唱歌、そして「マッサン」の挿入歌である「広い河の岸辺」を来場者とともに合唱。3ステージはピアノソロ、4ステージは女声合唱組曲を演奏し、来場者は素敵な演奏に大きな拍手を送りました。



静内エクリプスホテル朝食招待 4/23

静内エクリプスホテル（岩崎隆社長）は、朝食バイキングで提供している「アイスプラント」を生産している静内農業高校の食品科学科3年生6名を朝食バイキングに招待し、試食会を行いました。生徒たちは、朝食会場のサラダコーナーで提供されているアイスプラントを見た後、ほかの朝食とともに試食。生徒らは「自分たちの作ったものが並んでいるのは嬉しい。素材自体に味があるので普段は何もつけず食べていたけど、ドレッシングをつけて食べるのは新鮮でおいしかった。これからは安心して安全に食べられる食品を目指して頑張りたい。」と感想を述べました。



こども一日司書 4/30

『こども一日司書』が町図書館本館で行われ、町内在住の小学3～6年生の希望者4名が参加し、本の貸し出しや本のカバーかけなどを職員に教わりながら、司書の仕事を体験しました。



新規就農者激励会 4/28

『新規就農者激励会』が静内エクリプスホテルで開かれ、関係者51名が参加し、研修を終え、今年から新規就農者として町内で営農を始めた3組を激励しました。



花壇整備ボランティア 4/26

静内農業高校の生徒による『花壇整備ボランティア』が役場静内庁舎前で行われ、一つひとつ丁寧に植えられた花々が、役場前の花壇を色とりどりに彩りました。



ゴールデンウィーク上映会 4/23

『ゴールデンウィーク上映会』が町図書館で開かれ、約50名が来場しました。上映作品は「トムとジェリー」で、子どもたちは声をあげて楽しそうに鑑賞していました。



新ひだか町誕生10周年 第53回しずない桜まつり



『第53回しずない桜まつり』が二十間道路桜並木で開かれ、道内外から14万人を超える観桜客が会場を訪れました。
4月末から5月にかけて、寒暖の差が激しい日が続きましたが、4月30日に開花宣言、5月4日に満開宣言が行われ、桜まつり期間中にピークを迎えることができました。
祭り期間初日はオープニングセレモニーがイベント会場で行われ、サークル「芙蓉会」による琴と尺八の演奏や今年度の新ひだかさくら大使の紹介が行われ、祭り開催を盛り上げました。



お父さん・お母さん混合バレーボール大会 5/15

町体育協会主催による『町誕生10周年記念第10回町体育協会長杯争奪お父さん・お母さん混合バレーボール大会』が町静内体育館と山手体育館で開催されました。

町内の幼稚園・小中学校・高等学校から25チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

ルールやネットの高さが違うなどクラス別の規則で、Aクラスは「三石PTA」、Bクラスは「静内高校」、Cクラスは「高静小」が優勝を飾りました。



優駿と桜ロード50kmウォーキング 5/15

『第6回優駿と桜ロード50kmウォーキング2016SPRING』が行われ、道内外から65名が参加しました。

町公民館で開会式を行った後、朝5時にスタートし、国道沿いを新冠方面に進みながら、サラブレッド銀座や二十間道路桜並木を経由し、約半日かけてゴールのホテルローレルに到着。

この日は晴天に恵まれ、参加者は自分のペースで歩きながら、日高の広大な景色を満喫しました。



東静内ことぶき大学開講式 5/18

平成28年度『東静内ことぶき大学』開講式がみつし温泉蔵三で開かれ、63名が入学し、そのうち37名が参加。今回は、宝引きなどのレクリエーションを行いました。



なまらうまいっしょ!グランプリ 5/13~15

北海道日本ハムファイターズによる「北海道179市町村応援大使」企画の一環である『第7回なまらうまいっしょ!グランプリ』が札幌ドームで開かれ、当町から参加した丸善河田食品の「豆乳とおからのドーナツ」が3位に入賞しました。

対埼玉西武ライオンズ戦3日間に来場した観戦者による投票を得て、18市町村のグルメから選ばれました。1位は羽幌町の「羽幌名物甘えびの素揚げ」、2位は幕別町の「どろぶたメンチカツ」です。



アイヌ文化講演



古式舞踊

シベチャリ武四郎まつり 5/14

新ひだかアイヌ協会（大川勝会長）による『第4回シベチャリ武四郎まつり』が開かれ、約100名が参加しました。

先祖供養の儀式「イチャルパ」に始まり、早稲田大学・東京外国語大学の講師である志賀雪湖氏によるアイヌ文化講演やアイヌ料理試食会が行われ、参加者はアイヌ文化に対する知識を深めました。

また、北海道アイヌ協会平成27年度総会表彰を受賞した平村博さんの祝賀会が行われました。



桜舞サッカーフェスティバル 5/4~5

『第19回静内ロータリークラブ・日高信用金庫杯桜舞サッカーフェスティバル』が静内川左岸緑地公園サッカー場で開かれ、全道各地から20チームが参加し、白熱した試合を繰り広げました。